

イタリアの自転車レースで日本代表に選出

得意の上りで勝ち狙う

イタリアで13-15日に開催される自転車「2008年シロ・デ・バジリカータ」の日本代表選手に奈良北の山本元喜が選ばれ、出場する。

山本はことし7月11-14日に岩手県で開催された2008みちのくステージに近畿選抜選手として出場。第1ステージで2位、第2ステージで1位になり、個人総合優勝を果たして代表権を勝ち取った。

山本は腕技を始めたのは高校生になってからだが、「とにかく負けず嫌いで、自転車向きの性格」（三好泰彰監督）で急成長を遂げている。今夏の全国高校総体（インターハイ）でもトラック種目のポイントレースは7位入賞。ロードレースは13位と惜しくも入賞は逃したものの、序盤から先頭に立つなど周囲を自分のペースに巻き込み、持ち味は発揮した。

まだまだ成長過程とはいえ、持ち前の持久力とその積極性は三好監督も高く評価するところだ。単独のアタックは勇気のいる戦術だが、「気持ちの面で優位に立てる」と山本。「人の後ろについて走って

世界レベル吸収 今後の飛躍期待

もおもしろくない。自分で何がしたい」と、常に前向きにレースに挑む。

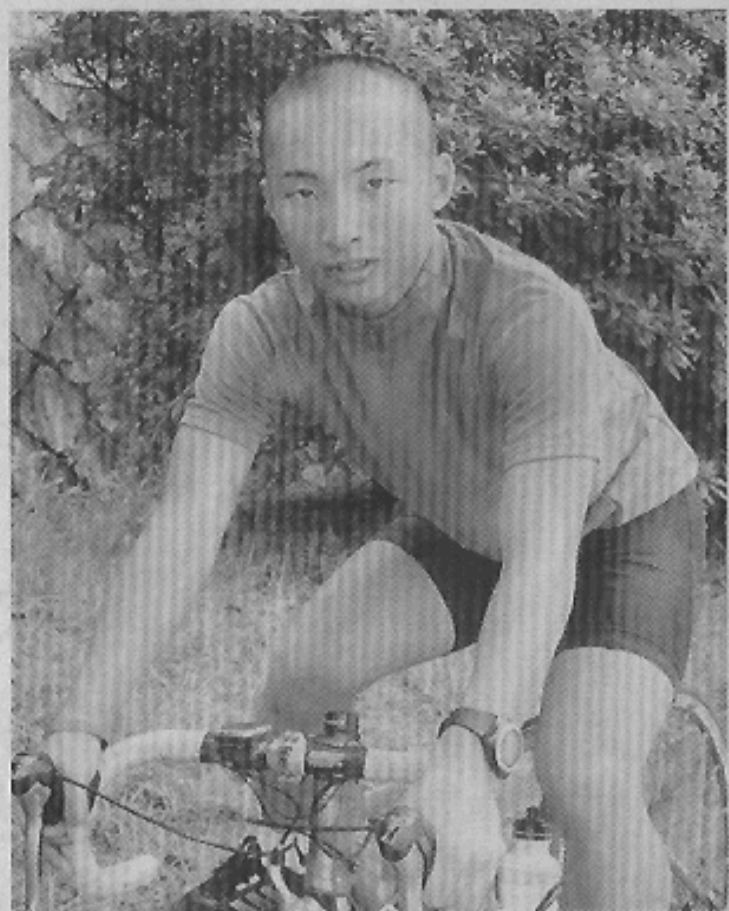
まだ2年生で初の代表選出、初の海外遠征。山本にとっては、まずは「自分が世界でどんなレベルにいるのかを知ること」が第1目標になるだろう。その上で「得意の上りで勝ちを狙いに行きたい」「平たんのスピードや下りの技術など、自分にはないものを吸収していきたい」と、夢がふくらむ。

奈良北は、富雄と統合される以前の北大和から県高校自転車界を支えてきた伝統校だった。3年ぶりの高校日本代表には、三好監督も「やっとなら北の伝統が受け継がれた気がする」と笑顔がこぼれる。

山本はチームの主将でもあり、来年に真を主体として開催される「近畿まほろば総体」の中心となるべき選手。今後の飛躍への期待も込め「自分の力を試すとともに、世界のレベルをしっかりと感じてきてほしい」と三好監督は期待を込めて送り出す。

日本代表選手団はきょう9日、成田空港を出発。帰国は17日の予定。

奈良北高2年 山本元喜



2年生ながら代表入りを果たした奈良北・山本